



平成 19 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー
 代表者の役職名 代表取締役社長 大橋 康宏
 (J A S D A Q ・ コード 7 6 1 0)
 問い合わせ先 取締役 C F O 片山 靖浩
 電 話 番 号 0 3 - 5 4 0 8 - 5 1 0 0 (代 表)

平成 19 年 2 月 期 1 月 度 の 概 況 に つ い て の お 知 ら せ

平成 19 年 2 月 期 1 月 度 の 概 況 を 、 下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す 。

記

1 . 単 体 売 上 高 速 報

(百 万 円)

	3月	4月	5月	1Q	6月	7月	8月	2Q	上半期	
売上高	3,543	3,171	2,978	9,693	2,633	3,194	3,211	9,038	18,731	
対前年同月増減率	41.1%	35.6%	37.5%	38.1%	29.5%	19.1%	9.4%	18.1%	27.7%	
	9月	10月	11月	3Q	12月	1月	2月	4Q	下半期	年度累計
売上高	2,972	2,685	3,027	8,684	6,305	5,088				
対前年同月増減率(実質)	23.5%	18.0%	23.4%	21.7%	34.9%	32.7%				
対前年同月増減率(名目)	18.5%	13.0%	18.9%	16.9%	32.2%	29.2%				

- (注) ・ 平成 18 年 9 月 1 日に株式会社テイツーのアイ・カフェ事業部門を会社分割し、子会社の株式会社アイ・カフェに承継したため、平成 18 年 9 月以降の単体売上高にはアイ・カフェ事業部門の売上は入っておりません。
- ・ 対前年同月増減率(実質)は、比較対象としている前年の単体売上高には、9 月以降はアイ・カフェ事業部門の売上高を控除した数字を使用しております。
 - ・ 対前年同月増減率(名目)は、比較対象としている前年の単体売上高は、従来どおり 9 月以降もアイ・カフェ事業部門の売上高を含めた数字を使用しております。

2 . 事 業 セ グ メ ン ト 別 既 存 店 売 上 高 速 報 (対 前 年 同 月 増 減 率)

	3月	4月	5月	1Q	6月	7月	8月	2Q	上半期	
古本市場事業	31.8%	25.9%	24.7%	27.7%	16.9%	13.9%	4.4%	11.2%	19.2%	
アイ・カフェ事業	7.2%	9.1%	-1.2%	5.2%	13.9%	4.8%	1.0%	5.8%	5.3%	
EC事業	11.2%	12.5%	10.3%	10.4%	-7.9%	3.4%	11.4%	0.9%	5.6%	
(EC売上)	16.9%	21.6%	18.4%	17.8%	6.0%	10.4%	13.7%	9.0%	13.3%	
(トナー売上)	-7.3%	2.8%	-7.3%	-4.1%	-29.1%	-29.6%	-10.0%	-23.6%	-14.4%	
(その他売上)	-41.4%	-69.8%	-52.7%	-57.4%	-84.9%	-5.1%	131.8%	-55.9%	-56.4%	
	9月	10月	11月	3Q	12月	1月	2月	4Q	下半期	年度累計
古本市場事業	17.5%	12.0%	17.3%	15.7%	29.4%	27.1%				
アイ・カフェ事業	0.1%	-2.4%	1.4%	-2.7%	3.6%	1.7%				
EC事業	-9.9%	3.7%	2.2%	-0.3%	27.8%	19.3%				
(EC売上)	-9.6%	7.1%	9.3%	-3.3%	23.0%	28.8%				
(トナー売上)	-14.4%	-14.8%	-31.9%	-20.8%	-13.0%	-27.0%				
(その他売上)	0.8%	26.0%	10.8%	11.8%	243.4%	-20.0%				

- (注) ・ 事業セグメント別既存店売上高速報には連結対象子会社の売上高も含まれているため、上記 1 . 単体売上高の対前年同月増減率とは連動いたしていません。
- ・ アイ・カフェ事業は、連結対象子会社である(株)アイ・カフェの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・ EC事業は、連結対象子会社である(株)ユーブックの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・ 既存店は、開店後 13 ヶ月目からを既存店舗と定義しております。

3. 営業概況

1 月度は、新型ゲームハードを中心とした新品ゲーム売上高が好調であったため、テイツー単体売上高は対前年同月増減率（実質）で 32.7%増の 5,088 百万円となりました。

古本市場事業の既存店売上高につきましては、「Wii」や「ニンテンドーDS Lite」といったゲームハード売上の好調に加え、「DS ドラゴンクエストモンスターズ ジョーカー」、「PS2 グランドセフトオート サンアンドレアス」、「Wii スポーツ」といったゲームソフトの売上も好調に推移したことから、新品ゲームを中心に 12 月に引き続き売上が大きく伸びました。こうした結果、古本市場事業の既存店売上高は対前年同月比 27.1%増となりました。

アイ・カフェ事業につきましては、12 月に全店舗で実施した期間限定割引クーポンを提供する「ウィンターキャンペーン」が好評であったため、当月も引き続き実施したほか、一部の店舗においては店内のコミックに割引券などを入れ、お客様に探していただくという「宝探しキャンペーン」を実施するなど、ユニークな販促を展開した結果、既存店売上高は対前年同月比 1.7%増となりました。

EC 事業につきましては、トナー売上やその他売上が縮小しているものの、通常の買取に加え、中古アニメ DVD の大量仕入などにより、品揃えに注力し商品力を強化した結果、前月に続き EC 売上の大幅な伸長により、売上高は対前年同月比 19.3%増となりました。

4. 出退店の状況

	06/12 末店舗数	出店数	退店数	07/1 末店舗数
古本市場事業	118	0	1	117
（古本市場直営店）	（86）	（0）	（0）	（86）
（古本市場業務提携・FC店）	（28）	（0）	（1）	（27）
（ブック・スクウェア）	（4）	（0）	（0）	（4）
アイ・カフェ事業	33	0	0	33
（直営店）	（16）	（0）	（0）	（16）
（FC店）	（17）	（0）	（0）	（17）
合計	151	0	1	150

（注）売上高は、公表日までのデータに基づいた速報ベースであり、修正される可能性があります。

また、監査法人による会計監査は受けておりません。